

一般社団法人
日本ソーシャルセラピストアカデミー・JAST

2016 年度 事業報告書



事業期間

2016年4月1日～2017年3月31日

事業内容および事業の成果

1、個別及びグループへの心理カウンセリングをはじめとした総合相談援助

東日本大震災における被災者・避難者・支援者に対して、無料カウンセリング（対面・電話・メール・SNS等）・アドバイス、団体間関係調整、ソーシャルケースワーク等（相談援助件数2016年度は、のべ1,600件超）を行った。

2、支援者のスキルアップを目的とした教育的カウンセリング

ピアソポーターへの傾聴ボランティアの教育講習・自助グループネットワークの構築・ネットワーク内のスーパーヴィジョンの体制等の構築を行った。

5月、福島県内で支援活動を行っている方を対象とした「カウンセラー養成講座」

10月と2月開催、山形県社会福祉協議会主催の、山形県内の市町村の社会福祉協議会の訪問職員を対象としたセミナーにおいて講師派遣の依頼を受けて、「援助職に携わる方の心の防災」をテーマに講座を行った。

3、講演および講座開催

5月、山形市内の企業にて社員教育の講座を行った。(昨年度に引き継ぎ2回目)

10月、山形市立第十小学校 PTA主催の4年生～6年生と父母を対象にした講演会に講師派遣の依頼を受けて講座を行った。

4、対話カフェ

4月より年間6回、当社カウンセリングルームにおいて、リラックスした雰囲気の中で、その日のテーマに合わせた対話をを行う、対話カフェを開催した。

5、復興庁「心の復興事業」

(1) 被災者、避難者に対して「心の健康指数アンケート」をきっかけに、フォローやカウンセリング、当事者間のトラブル解決等の介入を行った。アンケートした人数は1,500名を超える。

(2) 被災地を訪問して、映画や音楽と当社団のプログラム、「対話カフェ」をコラボレーションされたコミュニティ支援事業。音楽は当社団のメンバーでプロの音楽家で構成された歌と演奏で、訪問先の住民のニーズに合わせた、唱歌、演歌、童謡などジャンルは多岐にわたる。年間で34回開催し参加人員は、のべ1,900名程度。

6、ユニバール財団「四季カフェなごみ」

宮城県内の被災地仮設住宅、復興住宅においてコミュニティ支援を目的にした事業。

食事会、お茶会を通して住民の語らいの場を設けて住民同士の絆を深める事業。11月よりスタートして年間4回開催予定。